

## ジクロロプロパンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和52年10月27日～昭和53年3月10日
2. 試料名 ジクロロプロパン(試料No K-19)

a) 構造式, 分子式



- b) 性状 外観: 淡黄色の液体 沸点(℃): 96.8  
純度(%): 99.17 比重: 1.159  
溶解度: 20℃の水に 0.26 (W/V%) 溶ける  
(提示資料による)

c) 試験に供した化学物質のIRスペクトルを図-4に示す

### 3. 試験方法及び条件

環保業第 5号 }  
薬 発第 615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
49基局第 392号 }

試料濃度: 100 ppm 汚泥濃度: 30 ppm 試験期間: 2週間

#### 3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機(揮散性物質用クローメーター)

#### 3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

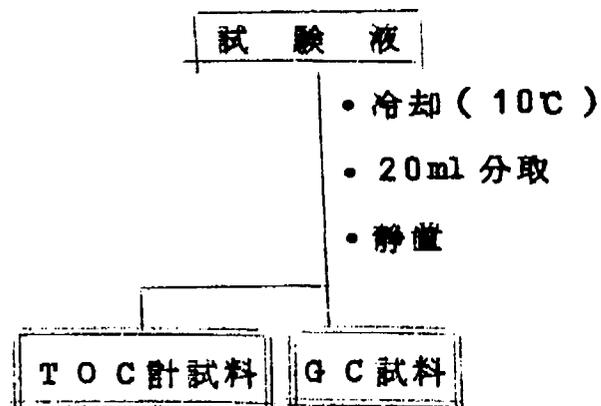
#### 3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

1) 分析試料の前処理



c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC計)

流速 TC回路 200ml/min

温度 TC炉 980℃

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス N<sub>2</sub>

充てん剤 Porapak Q

ガラスカラム 3mmφ×2m

カラム温度 185℃

試験結果

	分解度 (%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
TOC計による結果	0.8	3	2
GCによる結果	1.5	2	3

## 5. 備 考

### 5.1 試料の採取

マイクロシリンジで260 $\mu$ lを振り取り培養ビン中に加

### 5.2 クーロメーターへのセット状況

	状 況	pH
仕 込 時	水系，汚泥系共に培養ビンの底に油滴状に存在していた	—
途 中	水系，汚泥系共に溶けていた	—
終 了 時	水系，汚泥系共に溶けていた	—

以